

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

1月9日発行

Vol.386

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。



浪江町HP「つながろう なみえ」から 町内で新年のイベントが 開催されました

今年も元旦に毎年恒例の「あるけあるけ初日詣大会」が行われました。

また、翌日2日には、請戸漁港で出初式が行われました。



9ページをご覧ください。

目次

●「みなみそうまトピックス」から

- ・野馬追の里健康マラソン・
ウォーキング大会開催 ----- 2

●被災自治体News

- 南相馬市 ----- 3
- 浪江町 ----- 7
- 双葉町 ----- 10

●東京電力ホールディングス

- ・個人さまに対する請求書類
「一時立入、検査受診等にもなう
移動費用の賠償」の発送について
----- 17

●交流ルームひばり通信

- ・1月の「ひばり」 ----- 18



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

12/2 日

野馬追の里健康マラソン・ウォーキング大会開催

平成30年12月2日(日)、市スポーツ復興祈念「第31回野馬追の里健康マラソン記念大会・第13回ウォーキング大会」が市内で開かれました。県内外から約3,400人が出場し、冬の南相馬路を疾走しました。

参加者は、雲雀ヶ原陸上競技場を発着点としたハーフ、10km、5km、3kmなどマラソン35部門とウォーキング3部門の計38部門で健脚を競いました。

このうちハーフでは、一般男子39歳以下で中島拓実選手(福島市・福島自衛隊)が、一般女子フリーでワイリム・スーサン選手(いわき市・いわき明星大学)がそれぞれ優勝を飾りました。

沿道では市民が声援を送ったほか、たくさんの市民ボランティアが協力し、力走するランナーを後押ししました。



© City of Minamisoma



南相馬市からのお知らせ

新年のあいさつ（市長メッセージ）

1月4日HP更新

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から間もなく8年となります。旧避難指示区域においては、国による小高スマートインターチェンジの調査が始まり、小高区商業施設「小高ストア」も開店しました。また、海岸部では、福島イノベーション・コースト構想のもと、県が本市に整備を



進めてまいりました福島ロボットテストフィールドが一部開所し、世界にも類を見ない研究開発拠点として最初の一步を踏み出すなど、復興に向けた取り組みも進展しています。

本年は、これまでの取り組みに加え、教育水準を向上させるために独自に教員を採用したり、待機児童改善に取り組んだり、市立総合病院の機能を高めることで地域医療体制の充実を図るなど、教育・子育て、健康・医療などの各分野での取り組みを推進する考えです。

ロボット関連産業に関しましては、先に開催された国会における安倍総理の所信表明演説の中で東北を「創造と可能性の地」としたいとのご発言がありました。この言葉を後ろ盾として、地元企業の皆さまと共に手を携えて人材育成に努め、本市から最先端技術や新たなサービスを数多く生み出すなど、復興をさらに加速させていきたいと考えます。

夏には、これまで震災により休止していた北泉海水浴場を再開する予定です。

震災で大きな被害を受けた海岸部の真野川漁港では海産物の水揚げが行われ、北泉海岸ではサーフィンを楽しむ人の姿が増えるなど、徐々にではありますが、海に「笑顔」が戻ってまいりました。今後、海水浴場の再開とともにサーフィン大会の誘致や、波・魚・砂浜といった海資源を活用した事業に取り組むことで、震災前の魅力的な海を取り戻し、市民の皆さまや南相馬に来訪される皆さまに楽しんでいただけるよう努めてまいります。

結びに、市職員共々一丸となって更なる市勢発展に努めて参りますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

南相馬市長 門馬 和夫

南相馬市公式ホームページ リニューアルのお知らせ

平成30年12月25日HP更新

南相馬市公式ホームページは平成30年12月25日にリニューアルを行い、トップページ以下、コンテンツが新しい構成になりました。

各ページを探すには、共通検索機能や各リンクをご利用ください。

また、リニューアルに合わせて常時暗号化に対応しました。

より見やすく、より便利に、より優しく

リニューアルのポイントとした「見やすい」「便利」「優しい」の3点を紹介します。

「見やすい」シンプルで見やすく、情報を探しやすいデザイン

メインとなる「ポータルサイト」は、主な閲覧者を市民と設定。トップページは、情報をまとまりごとに視線の流れに沿ってレイアウトし、全体的な構成を把握しやすくしました。

ポータルサイトのポイント

- **トップページ** 情報を整理し、直感的に知りたい情報を探せるようにしました。
閲覧情報を解析し、リンクボタンは良く見られている情報に厳選しました。
- **各ページ** 文字の大きさや字間、行間を大きくすることで情報を見やすくしました。
また、カテゴリーを再構成し情報を探しやすくしました。

「便利」多くの人に、より気軽に、身近に使ってもらう道具に

スマートフォンで見た場合、専用のデザインで表示されようになり、スマートフォンでも見やすくなりました。

検索エンジンを独自のものからヤフー株式会社に変更。目的別、ライフイベント別など検索方法も充実しました。

多言語翻訳機能を強化、SNS連携を搭載し、多くの人の目に触れられるようにしています。

「優しい」高齢者や障がいのある方に配慮したシステム

高齢者や身体に障がいや不自由のある人が容易に情報を取得できるように配慮し、アクセスした誰もが容易に情報を得られる状態となるようにします。

次ページへ続きます 

相馬野馬追を市内外へ発信

市外の方向けに観光と移住定住の特設サイトを新たに開設。ポータルサイトと両特設サイトに誘導する入口ページで流れる市のPR動画も情報発信強化の一環です。



観光情報サイト



移住定住サイト「馬と僕と君とずっと」



次ページへ続きます

市民の皆さんの意見をリニューアルに生かしました

リニューアルには、市民の皆さんに協力いただいている「広報・広聴に関するアンケート調査」の結果を参考にしました。

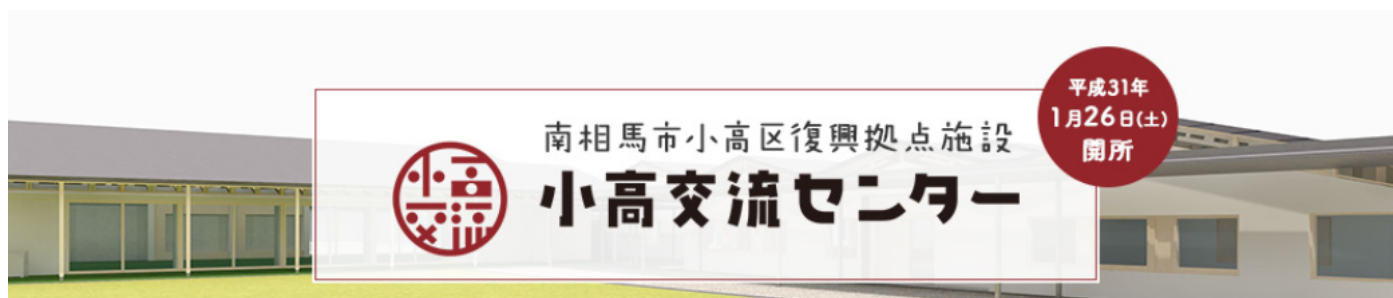
参考にした意見を抜粋して紹介します。

- ・調べたいことがどこに入っていけばよいのかがスムーズにいかない(40代女性、原町区)
- ・知りたい情報が探しにくい。カテゴリーをもっとわかりやすくしてほしい(50代女性、原町区)
- ・検索ワードで出てこない(20代男性、小高区)
- ・スマホで見にくい(30代女性、原町区)

問い合わせ

総務部 秘書課 広報係

TEL 0244-24-5216



みなみそうまチャンネル

南相馬市



電話でのお問合せ

TEL:0244-26-5663

(平日のみ 午前9時～午後5時)

今週の番組 60分 ※パソコン視聴

番組内容 [1/9～1/16]

1. オープニング&今週の番組 [2分]
2. 南相馬市長 1月定例記者会見 [10分]
3. 第1回ふくしま植樹祭 第6回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭
～未来へつなぐ希望の森林づくり～ [27分]
4. 南相馬市議会議員所信表明～大場裕朗議員 [3分]
5. 南相馬市議会議員所信表明～高橋真議員 [3分]
6. 南相馬市議会議員所信表明～栗村文夫議員 [3分]
7. 南相馬市議会議員所信表明～菊地洋一議員 [3分]
8. 南相馬市議会議員所信表明～大岩常男議員 [3分]
9. 南相馬市議会議員所信表明～岡崎義典議員 [3分]
10. リクエストアワーのお知らせ [3分]





浪江町からのお知らせ

「個人ADR申立て説明会・相談会」を開催します

1月1日HP更新

町では個人によるADR申立てができるよう、説明会と相談会を開催します。

説明会では、原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)が申立書の書き方や和解事例の紹介をします。

相談会では、原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)の委託の弁護士や福島県司法書士会の司法書士による、申立てに関する相談や法律相談の窓口を設けます。

説明会と相談会、ともに予約不要・無料でご利用いただけます。

開催日時

月日	時間	場所	住所・電話番号
1月24日(木)	午後1時	いわき市 なみえ交流館	いわき市常磐上矢田町叶作13-3 TEL:0246-84-6740
1月30日(水)	午後1時	福島市 あつまっぺ交流館	福島市方木田字谷地13-7 TEL:024-572-7989
2月2日(土)	午後1時	南相馬市 ひばり生涯学習センター	南相馬市原町区本陣前三丁目60-2 TEL:0244-25-3577

※ お越しになる際は

- ・手続きに必要な申立書の様式や和解事例集(冊子)などは当日、会場にて配布します。
- ・会場で説明を聞きながら申立書を書くことも可能ですので、申立書を作成したい場合は、ボールペンと印鑑をお持ちください。

問い合わせ

総務課 賠償支援係

TEL 0240-34-4638

手数料の減免の終了について

1月1日HP更新

震災後から行っていた各種証明書の発行手数料の減免について、3月31日をもって終了となります。

4月1日からは、従来どおり手数料をいただきますので、あらかじめご了承ください。

主な手数料については、次のとおりです。表にない証明書については、下記担当へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【戸籍・住民票・印鑑証明】

分類	証明書の種類	手数料 (1通当たり)
戸籍	全部事項証明書 (戸籍謄本)	450円
	個人事項証明書 (戸籍抄本)	
	改製原戸籍	750円
	除籍謄本	
	戸籍の附票	200円
	戸籍届の受理証明書	350円
	身分証明書	200円
	独身証明書	350円
住民票	世帯全員の住民票	1～5人 200円
		6～10人 400円
		11～15人 600円
	1人分の住民票 (住民票抄本)	200円
印鑑証明	除かれた住民票 (住民票の除票)	200円
	記載事項証明書	200円
	印鑑登録(再登録) ※原則本人のみ	200円
	印鑑登録証明書	200円

【税務証明関係】

分類	証明書の種類	手数料 (1通当たり)
納税証明書	軽自動車継続検査用 納税証明書	無料
	納税証明書	200円
	未納がないことの証明書	200円
	1年度1税目を1件200円とし、1税目を増すごとに40円の加算となります。	
町県民税	所得・課税証明書	200円
法人町民税	事業所所在地証明書	200円
固定資産税	評価証明書	200円
	公課証明書	200円
	住宅用家屋証明書	1,300円
	名寄帳兼課税台帳	200円
	土地は1筆、建物は1棟を1件200円とし、これを超えるときは、それぞれ1筆または1棟増すごとに40円の加算となります。	

問い合わせ

住民課 住民係

TEL 0240-34-0230

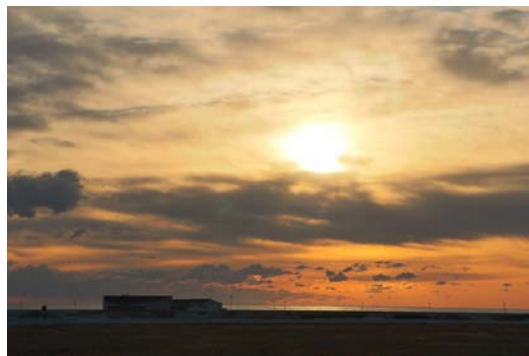
浪江町HP「つながろう なみえ」から

町内で新年のイベントが開催されました

今年も元旦に毎年恒例の「あるけあるけ初日詣大会」が行われました。

凍えるような寒さの中、まち・なみ・まるしえから大平山霊園までの約3キロメートルを、皆さん元気に歩き、それぞれの想いを胸に初日の出を拝みました。

また、翌日の2日には、請戸漁港で出初式が行われ、晴天の下約20隻の漁船が勇壮な姿を見せ、荒ぶる海へと出港していきました。



浪江町民の避難状況（平成30年12月31日現在）

【都道府県別】（福島県外）

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	55	長野県	52	愛媛県	9
青森県	48	岐阜県	16	高知県	5
岩手県	37	静岡県	52	福岡県	19
宮城県	903	愛知県	42	佐賀県	4
秋田県	48	三重県	7	長崎県	10
山形県	133	滋賀県	5	熊本県	6
茨城県	997	京都府	33	大分県	5
栃木県	480	大阪府	65	宮崎県	10
群馬県	139	兵庫県	20	鹿児島県	7
埼玉県	675	奈良県	5	沖縄県	15
千葉県	574	和歌山県	-	国外	11
東京都	843	鳥取県	-	合計	6,233
神奈川県	415	島根県	6	(前月 6,243)	
新潟県	351	岡山県	20		
富山県	16	広島県	10		
石川県	27	山口県	1		
福井県	10	徳島県	1		
山梨県	41	香川県	5		

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	2,654	天栄村	1	古殿町	1
会津若松市	204	下郷町	4	三春町	73
郡山市	1,805	南会津町	7	小野町	12
いわき市	3,255	北塩原村	2	広野町	44
白河市	242	西会津町	2	楢葉町	17
須賀川市	151	磐梯町	4	富岡町	7
喜多方市	24	猪苗代町	26	川内村	4
相馬市	460	会津坂下町	19	浪江町	631
二本松市	1,116	金山町	1	葛尾村	5
田村市	75	会津美里町	9	新地町	81
南相馬市	2,076	西郷村	150	飯舘村	1
伊達市	114	泉崎村	5	その他	2
本宮市	504	中島村	1	合計	14,276
桑折町	152	矢吹町	33	(前月 14,276)	
国見町	27	棚倉町	6		
川俣町	67	塙町	2		
大玉村	185	石川町	6		
鏡石町	8	玉川村	1		

避難者総数

20,509

(前月 20,519)



双葉町からのお知らせ

帰還に向けた環境整備を加速（町長メッセージ）_平成31年1月1日

1月4日HP更新

平成31年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故による全町避難から、8度目の新年を迎えました。本年は平成最後の年となり、5月からは新しい元号のスタートとなる節目の年です。新たな時代の幕開けとなりますので、より一層気を引き締めながら町政運営に努めてまいります。



昨年は双葉町の復興の具現化に向かって大きく動き出した1年でありました。また、昨年11月に安倍晋三内閣総理大臣が中野地区復興産業拠点と、特定復興再生拠点区域内のJR常磐線双葉駅周辺を視察され、「復興・創生期間後も福島復興が成し遂げられるまで国が前面に出て、全力を尽くす」という強い決意を述べられ、私としても今後の町の復興・再生に強く背中を押していただいたと感じたところです。

町の新たな「働く拠点」として位置づけている中野地区復興産業拠点は、平成30年度内における一部供用開始に向け整備を進めてきたとともに、町内での事業再開に向けた立地支援と企業誘致にも積極的に取り組み、事業者との立地協定を順次締結しております。さらに立地を希望している約20社の企業との協定締結に向けて協議を進めております。

また、町への人の流れを創出するため、各拠点を有機的に結び付ける常磐自動車道復興インターチェンジの整備、インターチェンジから拠点区域や中野地区へのアクセス道路となる復興シンボル軸（県道井手長塚線、長塚請戸浪江線）の整備については、昨年の11月に起工式が行われ、平成32年（2020年）の暫定供用、平成34年（2022年）の全線開通を目指してまいります。

平成32年（2020年）春にはJR常磐線も全線開通予定であり、それに合わせて昨年からJR双葉駅の橋上化や東西自由通路の供用開始ができるよう整備を進めております。

次ページへ続きます

また、すでに特定復興再生拠点区域内90ヘクタールの除染・建物解体を実施しておりますが、本年からは90ヘクタール以外の復興再生拠点区域全域での除染、建物解体が環境省により進められていきます。

「住む拠点」として整備する駅西地区については、住民説明会を経て、用地取得に取り組み、平成34年(2022年)の居住開始を目指して公営住宅や賃貸住宅等の建設、分譲地の整備など帰還環境整備を進めてまいりますので、町民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

昨年開催した町政懇談会でも双葉町への帰還に関する考え方をお示しましたが、今後、双葉町への帰還に向けて(仮称)帰町準備室や検証委員会の設置などの取り組みを進め、避難指示解除と町への帰還に向けて各種事業を着実に進めてまいります。さらに、町民の皆さまの生活を支える各種支援策や原子力損害賠償についても今後とも粘り強く国に要望していく所存です。

町立学校再開から6年目を迎えます。町の将来を担う次世代の育成のため、「双葉町教育ビジョン」に基づき、一人ひとりを大切にする少人数教育、幼稚園、小・中学校連携による柔軟な教育活動、ICT関連機器を生かした教育や英語教育、双葉町の伝統文化の学習など特色ある教育を推進していきたいと考えております。さらに、生涯学習への支援についても継続して行い、町民の方々の絆の維持を図ってまいります。

本年も初心を忘れず、必ず双葉町を復興させるという強い信念を持ち、議会と連携しながら職員とともに町の復旧・復興、並びに町民の皆さまの生活支援や絆の維持に関する事業に精力的に取り組み、帰還に向けた環境整備を加速してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

寒さの厳しき折、町民の皆さまには健康に留意され、本年が良き年となりますようご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

双葉町長 伊澤 史朗

「国・県義援金第2次追加配分(7回目)」および

「双葉町義援金第7次配分」のお知らせ

平成30年12月25日HP更新

国および福島県から双葉町に配分された義援金と双葉町に寄せられた義援金について、東日本大震災義援金双葉町配分委員会において配分内容が決定されましたので、皆さまに配分させていただきます。

配分額

国・県義援金:一人当たり 15,000円

双葉町義援金:一人当たり 3,000円

配分対象者

平成30年4月1日の時点で双葉町民の方(死亡された方は除く)および生活実態者。
ただし、平成23年3月12日以降に出生および転入された方は対象外となります。

配分方法および配分時期

前回義援金を配分した口座へ、平成30年12月下旬から順次振り込み予定です。

問い合わせ

健康福祉課 福祉介護係

TEL 0246-84-5205

双葉町HP「ブログふたばのわ」から

【ありがとうメッセージPick Up】 #039 笑顔が消えてしまった時に支えてくれた方への感謝

震災後、双葉町は全国からさまざまな支援をいただきました。細澤榮子さんが一番感謝している支援は、話を聞いてくれたという気持ちの面での支えです。新潟の長岡市へ避難した細澤さんは、見知らぬ土地で不安と寂しさが募る中、心が折れてしまいそうだったと言います。

そんな時、細澤さんの支えとなったのは長岡市のボランティアの方々、そして同じように福島県から避難している方たちの存在でした。みんなで集まって何をするわけでもなく、ただおしゃべりをしたり、時にはみんなで料理をしたり。そういった時間が、細澤さんの心を少しずつ落ち着かせ、笑顔を取り戻すことが出来たと言います。

長岡市の方とは今でもお互い行き来したり、お付き合いが続いているそうです。細澤さんの素敵なありがとうメッセージ、ぜひご覧ください。

▶ <https://youtu.be/xWcXCjx3MBo>



双葉町HP「ブログふたばのわ」から

【ありがとうメッセージPick Up】 #040 避難所で受けた介護支援への感謝

ご高齢のお母さんを連れて避難生活を送った石澤邦夫さん。

石澤さんは避難先各地で、お母さんを気遣ってくれた方々への感謝の気持ちを話してくださいました。

震災直後、町内で一人暮らしをしていたお母さんと合流し、娘さんが勤める会社の避難所となった北塩原村の小野川荘へ。そこで、震災後初めてお母さんをお風呂に入れてもらったそうです。当時を思い出し感謝を述べる石澤さんの目には涙が浮かんでいました。

デイサービスの手配をしてくれた昭和村の助役さん、猪苗代町の社会福祉協議会…、お母さんがお世話になった方々への感謝は尽きません。

お母さんは平成29年2月に亡くなられたそうです。避難生活の困難をともにしたお母さんへの思い、そのお母さんを支えてくれた方々への感謝、石澤さんの気持ちが感じられるメッセージです。ぜひご覧ください。

▶ https://youtu.be/_r9YmlJcGEk



【ありがとうメッセージPick Up】 #041 思い出と共に甦る感謝－ママサロンからありがとう

加須市のふたば交流広場に主婦の皆さんが月一回集まって、勉強会などを行っているママサロン。

「会っていろんな話をするとみんな元気になって帰っていく」参加者の一人は、ママサロンについてそう語りました。

ママサロンは、さまざまな思いを共有できる場所。参加している皆さんは、震災後の避難先での苦労や困難を、仲間と分かち合うことで乗り越えてきました。

- ・思春期の娘のためにダンボールで替えるスペースを作ってもらった
- ・子どもにつきっきりだった時に「大丈夫ですか？」と声をかけてもらった
- ・高校へ上がる娘の制服や教科書、スポーツウェアに至るまで支援してもらった

ママサロンの皆さんが語った感謝のメッセージは、家族を思う主婦ならではのものばかりでした。いつもはにぎやかな皆さんがそれぞれの思い出に共有・共感しながら丁寧に語ってくださった感謝のメッセージです。ぜひご覧ください。

▶ <https://youtu.be/VzoRZ5smklQ>



双葉町HP「町長の活動状況」から

仕事納めの式

平成30年12月28日

いわき事務所や郡山支所、埼玉支所において仕事納めの式を行いました。

いわき事務所で伊澤町長は、1年を振り返りながら「昨年9月に特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定を受け、町の復興に向けたさまざまな取り組みが大きく動き出した1年でした」と述べ、「来年は双葉町復興への1つ1つの課題解決に向けて、職員の皆さんとスクラムを組んで取り組んでいきたい」とあいさつしました。

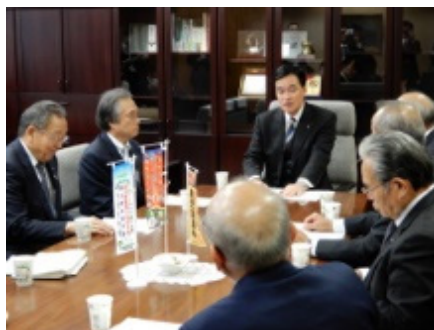
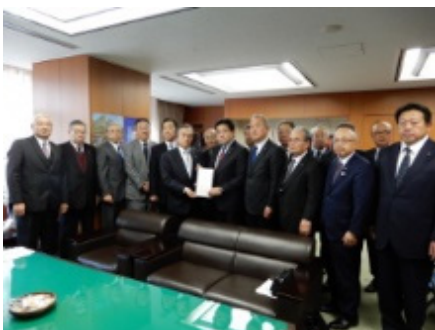
続いて、1年の無事に感謝して双葉ダルマに目入れを行いました。



双葉地方町村会、双葉地方町村議会議長会が要望活動を実施

12月20日、21日

双葉地方町村会、双葉地方町村議会議長会が合同で自由民主党東日本大震災復興加速化本部、総務省、国土交通省、環境省、経済産業省、復興庁、厚生労働省、農林水産省に避難地域の復興の実現や復興推進体制の継続、原子力発電所事故の収束と住民への迅速かつ正確な情報提供などについて要望書を提出するとともに強く求めました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

内堀福島県知事が復興拠点を視察

12月17日

内堀雅雄福島県知事が大熊町、双葉町を訪れ、復興拠点などを視察されました。

双葉町では中野地区復興産業拠点やJR双葉駅周辺を視察され、伊澤町長と復興後の町の構想について意見交換を行いました。

内堀知事は「整備が着実に前に進んでいる光を感じたが、震災当時と変わらない重い影も感じ、本当の意味での復興のスタートを切るために国、県、地元自治体が力を合わせる必要がある」と述べられました。



橘復興副大臣がいわき事務所を訪問

12月14日

橘慶一郎復興副大臣がいわき事務所を訪問され、伊澤町長、佐々木清一町議会議員、岩本久人副議長と双葉町の復興の現状について、意見交換を行いました。

伊澤町長は、復興財源と国の支援体制の長期的な確保、特定復興再生拠点区域復興再生計画に記載された取り組みの実現に向けた支援の充実、特定復興再生拠点外の荒廃抑制に向けた取り組みなどについて強くお願いし、要望書を手渡しました。



受賞報告

12月10日

標葉せんだん太鼓保存会（横山久勝会長）が、石川県白山市で開催された第15回日本太鼓シニアコンクールで最上位の特別賞となる浅野太鼓賞を受賞し、12月10日に横山会長と今泉春雄副会長が伊澤町長に受賞の報告を行いました。

横山会長は、「全国各地に暮らす双葉町民にのたくさん元気を届けたい、そんな気持ちで全身全霊をかけて演奏しました」と話し、伊澤町長は「大変うれしく思います。標葉せんだん太鼓保存会の活躍は双葉町民にとっても励みになります」と称えました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

いわき・まごころ双葉会12月例会

12月8日

いわき市好間公民館において開催されたいわき・まごころ双葉会12月例会に出席しました。

伊澤町長は町の現状と復興への取り組みの進捗状況について説明し、ご理解とご協力をお願いするとともに参加された皆さんと懇談しました。



中央要望活動を実施

12月7日

要望活動として、復興庁、環境省、経済産業省、厚生労働省、農林水産省など関係する中央省庁に対し、町民の被害実態に即した賠償の実施と町民の生活再建支援、避難者に対する高速道路の無料措置の一括延長、町民が安心できる医療・福祉施策の支援継続・充実、町内の速やかかつ計画的な解体・除染の実施、復興財源と国の支援体制の長期的な確保など町の復旧・復興、町民支援に向けた重点課題について強く要望しました。



双葉町民の避難状況（平成30年12月31日現在）

【都道府県別】（福島県外）

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	13	福井県	1	広島県	3
青森県	15	山梨県	14	山口県	-
岩手県	10	長野県	17	徳島県	-
宮城県	243	岐阜県	6	香川県	-
秋田県	11	静岡県	35	愛媛県	5
山形県	26	愛知県	6	高知県	-
茨城県	470	三重県	1	福岡県	9
栃木県	151	滋賀県	1	佐賀県	4
群馬県	39	京都府	9	長崎県	5
埼玉県	819	大阪府	5	熊本県	2
千葉県	171	兵庫県	2	大分県	6
東京都	341	奈良県	1	宮崎県	1
神奈川県	167	和歌山県	-	鹿児島県	12
新潟県	144	鳥取県	-	沖縄県	4
富山県	14	島根県	17	国外	5
石川県	14	岡山県	3	合計	2,822

（前月 2,825）

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	248	鏡石町	9	小野町	1
会津若松市	47	天栄村	4	広野町	41
郡山市	695	下郷町	2	楢葉町	7
いわき市	2,205	只見町	2	川内村	5
白河市	188	南会津町	1	葛尾村	1
須賀川市	65	猪苗代町	1	新地町	9
喜多方市	8	会津坂下町	10	合計	4,076
相馬市	54	会津美里町	6		
二本松市	17	西郷村	33		
田村市	18	泉崎村	7		
南相馬市	265	中島村	2		
伊達市	10	矢吹町	28		
本宮市	36	棚倉町	10		
桑折町	5	塙町	8		
川俣町	3	平田村	3		
大玉村	7	三春町	15		

（前月 4,074）

避難者総数

6,898

（前月 6,899）

TEPCO

東京電力ホールディングス
福島復興本社

個人さまに対する請求書類 「一時立入、検査受診等にもなう 移動費用の賠償」の発送について

平成30年12月26日

「一時立入、検査受診等にもなう移動費用の賠償」につきまして、以下の通りご請求の受付を開始させていただきますので、お知らせいたします。請求書類をご希望される方は、大変お手数ですが、末尾に記載の「福島原子力補償相談室（コールセンター）」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。（概要については平成30年3月26日お知らせ済み）

- ・ご請求対象期間：平成30年10月1日から平成30年12月31日まで（原則3カ月単位）
- ・ご請求受付開始：平成31年1月2日

なお、やむを得ない理由により、上記以外にも損害の継続を余儀なくされている方につきましては、別途、ご事情をお伺いさせていただきますので、末尾に記載の「福島原子力補償相談室（コールセンター）」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

問い合わせ

<原子力事故による損害に対する賠償に関する問い合わせ先>

福島原子力補償相談室（コールセンター）

0120-926-404

午前9時～午後7時（月～金（除く休祝日））

午前9時～午後5時（土・日・休祝日）

1月の『ひばり』

日	月	火	水	木	金	土
★版画教室 第2・4水曜日午前10時～正午 ★茶話会&簡単な手芸教室 第1・3・5水曜日午前10時～午後2時 気軽に参加ください。				10	11	12
				ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み
13	14	15	16	17	18	19
	成人の日	ひばり休み	茶話会	ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み
20	21	22	23	24	25	26
		ひばり休み	版画教室	ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み

問い合わせ

交流ルーム ひばり
(総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[運営時間] 日・水・金 午前10時～午後2時
月 午前10時～正午

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。
南相馬市	0244-22-2111	双葉町:双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町2-19-4)
浪江町	0240-34-2111	
双葉町	0246-84-5200	
郡山市	024-924-2491	

三条市に避難している 世帯数と人数(2019.1.9現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	20	49
原町区	4	7
南相馬市 計	24	56
浪江町	3	11
双葉町	1	3
郡山市	4	9
合 計	32	79